

(平成23年11月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>11月期の野菜の入荷状況は、根菜類では、長ダイコンで、気候が温暖であったことから作柄良好となり、入荷増となった。カブラや西洋ニンジンは、主力産地の生育期の天候不順の影響から生育の遅れ等がみられ入荷減となった。葉菜類は、気温が高く生育が進んだことから、多くの品目で入荷増となった。果菜類は、品目により様々で、ナス、ピーマンでは、主力産地の気候が温暖であったことから作柄良好となり、入荷増となった。一方、キュウリ、トマトでは、天候不順の影響からそれぞれ入荷前年並み、入荷減となった。土物類は、バレイショ、タマネギで、主力産地の天候不順の影響から作柄不良がみられたが、前年が不作であったことから、それぞれ、入荷前年並み、入荷増となった。全体の入荷量は、前年同期を5%上回った。</p> <p>価格は、多くの品目で、前年が単価高であったことから、前年同期を21%下回った。</p> <p>品目別には、長ダイコン、ハクサイ、キャベツ、ホウレンソウ、レタス、ナス、ピーマン、タマネギが入荷増の単価安、キュウリ、バレイショが入荷前年並みの単価安、カブラが入荷減の単価高、西洋ニンジン、トマトが入荷減の単価安となった。</p> <p>根菜類は、入荷が6%増加し、価格は22%安となった。 葉菜類は、入荷が8%増加し、価格は35%安となった。 果菜類は、入荷が前年並みで、価格は8%安となった。 土物類は、入荷が前年並みで、価格は22%安となった。</p>
果 実	<p>11月期の果実の入荷状況は、カンキツ類、リンゴ類で、生育期の天候不順等により作柄不良がみられ入荷減となった。カキ類では、前年が不作であったことから入荷増となった。メロン類は、品目により様々で、入荷前年並みとなった。果実全体の入荷量は、前年同期を7%下回った。</p> <p>価格は、カンキツ類では、ミカンで下位等級の入荷が多かったことから、単価安となった。また、カキ類では、前年が単価高であったことから、単価安となった。リンゴ類は、入荷減により、単価高となった。メロン類は、品目により様々で、前年並みの単価となった。果実全体では、前年同期並みとなった。</p> <p>品目別には、富有柿が入荷増の単価安、ジョナゴールド、ふじリンゴ、王林、アールスメロンが入荷減の単価高、ミカンが入荷減の単価安となった。</p> <p>カンキツ類は、入荷が5%減少し、価格は18%安となった。 リンゴ類は、入荷が26%減少し、価格は21%高となった。 カキ類は、入荷が14%増加し、価格は21%安となった。</p>

メロン類は、入荷、価格ともに、前年並みとなった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長大根	<p>千葉県，青森県を中心に石川県，長崎県，徳島県からの入荷。各産地とも，温暖であったことから作柄良好となり，入荷量は，前年同期を18%上回った。</p> <p>価格は，入荷増により，前年同期を37%下回った。</p>
カブラ	<p>京都府を中心に，滋賀県，北海道からの入荷。主力の京都府産，滋賀県産で，9月の台風の影響から作柄不良がみられた。入荷量は，前年同期を17%下回った。</p> <p>価格は，入荷減により，前年同期を61%上回った。</p>
西洋ニンジン	<p>北海道，長崎県を中心に，青森県，鳥取県，中国からの入荷。主力の長崎県産で，生育期の天候不順から，生育の遅れがみられた。入荷量は，前年同期を7%下回った。</p> <p>価格は，入荷減ながら，前年が単価高であったことから，前年同期を25%下回った。</p>
【葉菜類】	
ハクサイ	<p>茨城県を中心に，長野県，群馬県，滋賀県，大分県からの入荷。各産地とも，温暖であったことから作柄良好となり，入荷量は，前年同期を4%上回った。</p> <p>価格は，入荷増であったこと，また，前年が単価高であったことから，前年同期を41%下回った。</p>
キャベツ	<p>愛知県を中心に，茨城県，長野県，滋賀県，鹿児島県からの入荷。各産地とも，温暖であったことから作柄良好となり，入荷量は，前年同期を24%上回った。</p> <p>価格は，入荷増であったこと，また，前年が単価高であったことから，前年同期を58%下回った。</p>
ホウレンソウ	<p>京都府を中心に，岐阜県，徳島県，茨城県，滋賀県からの入荷。各産地とも，温暖であったことから作柄良好となり，入荷量は，前年同期を27%上回った。</p> <p>価格は，入荷増であったこと，また，前年が単価高であったことから，前年同期を32%下回った。</p>
レタス	<p>兵庫県，茨城県を中心に，徳島県，長崎県，岡山県からの入荷。各産地とも，温暖であったことから作柄良好となり，入荷量は，前年同期を7%上回った。</p> <p>価格は，入荷増であったこと，また，前年が単価高であったことから，前年同期を31%下回った。</p>

<p>【果菜類】</p>	
<p>キュウリ</p>	<p>宮崎県を中心に、高知県、滋賀県、福岡県、京都府からの入荷。各産地ともに、生育期の天候不順により、作柄不良がみられたものの、前年の入荷が少なかったことから、前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、前年が単価高であったことから前年同期を3%下回った。</p>
<p>ナス</p>	<p>高知県を中心に、岡山県、京都府、徳島県からの入荷。京都府産では、温暖であったことから作柄良好となり、全体の入荷量は、前年同期を12%上回った。</p> <p>価格は、入荷増により、前年同期を19%下回った。</p>
<p>トマト</p>	<p>熊本県を中心に、滋賀県、岐阜県、福岡県、京都府からの入荷。主力の熊本県産で生育期の天候不順により、作柄不良がみられた。入荷量は、前年同期を3%下回った。</p> <p>価格は、入荷減ながら、前年が単価高であったことから、前年同期を6%下回った。</p>
<p>ピーマン</p>	<p>宮崎県を中心に、高知県、茨城県、大分県からの入荷。宮崎県産、茨城県産で、台風や降雨が続いた影響から、定植が遅れたものの、その後の生育は順調で、作柄良好となった。入荷量は、前年同期を21%上回った。</p> <p>価格は、入荷増により、前年同期を21%下回った。</p>
<p>【土物類】</p>	
<p>バレイショ (メーカー含む)</p>	<p>北海道を中心に、長崎県からの入荷。主力の北海道産で、生育期の天候不順から作柄不良がみられ、小玉傾向での入荷となった。全体の入荷量は、不作であった前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、前年が単価高であったことから、前年同期を31%下回った。</p>
<p>タマネギ</p>	<p>北海道を中心に、兵庫県、アメリカ、中国、京都府からの入荷。主力の北海道産は、生育期の天候不順の影響から作柄不良がみられたものの、全体の入荷量は、前年が不作であったことから前年同期を5%上回った。</p> <p>価格は、前年が単価高であったことから、前年同期を33%下回った。</p>
<p>【その他野菜】</p>	
<p>生シイタケ</p>	<p>徳島県を中心に、広島県、北海道、和歌山県、岡山県からの入荷。北海道産で、中旬以降の気温の低下により、作柄不良がみられた。全体の入荷量は、前年同期を10%下回った。</p> <p>価格は、不況による需要の低迷が続いており、安値であった前年同期並みとなった。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	<p>和歌山県を中心に、福岡県、愛媛県、高知県、大分県からの入荷。各産地ともに、9月以降、高温や降雨が続いた影響から、作柄が悪く、入荷量は、前年同期を5%下回った。</p> <p>価格は、入荷減ながら下位等級の入荷が多く、前年同期を17%下回った。</p>
ジョナゴールド	<p>青森県を中心に、岩手県からの入荷。</p> <p>各産地ともに生育期の天候不順により、小玉傾向での入荷となった。入荷量は、前年同期を53%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により前年同期を24%上回った。</p>
ふじ (サン含む)	<p>長野県、青森県を中心に、岩手県、山形県、福島県からの入荷。各産地ともに生育期の天候不順により、小玉傾向での入荷となった。入荷量は、前年同期を19%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により前年同期を20%上回った。</p>
王林	<p>長野県を中心に、青森県、岩手県、山形県、福島県からの入荷。各産地ともに生育期の天候不順により、小玉傾向での入荷となった。入荷量は、前年同期を42%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により前年同期を24%上回った。</p>
富有柿	<p>奈良県を中心に、福岡県、京都府、鳥取県、和歌山県からの入荷。主力の奈良県産で、9月に降雨が続いた影響から病害の発生がみられたものの、前年の入荷が少なかったことから前年同期を5%上回った。</p> <p>価格は、入荷増であったこと、また、前年が単価高であったことから、前年同期を23%下回った。</p>
アールスメロン	<p>熊本県、高知県、静岡県を中心に茨城県、宮崎県からの入荷。</p> <p>多くの産地で生育期の天候不順により作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を12%下回った。</p> <p>価格は、入荷減であったこと、また、業務需要が堅調であったことから、前年同期を4%上回った。</p>